

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 令和2年4月8日

(2) 調査対象期間 令和2年1月～3月期実績および令和2年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	23社	76.6%
建 設 業	30社	23社	76.6%
卸 売 業	30社	23社	76.6%
小 売 業	35社	21社	60.0%
サービス業	25社	17社	68.0%
合 計	150社	107社	71.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II. 概 況

《 全 体 の 動 き 》

令和元年度第IV四半期<令和2年1月～3月>の北見市における業況は、前年同期比で「好転企業」12.1%、「悪化企業」59.8%、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△47.7となっています。

このD・I値を前年同期と比較してみると、前年同期△18.9→今期△47.7と28.8ポイントの大幅な悪化を示しました。また、前期<第III四半期>との比較では、前期△25.0→今回△47.7と22.7ポイントの大幅な悪化傾向となりました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△47.9、建設業D・I値△8.7、卸売業D・I値△52.2、小売業D・I値△52.4、サービス業D・I値△88.2となっており、前年同期調査と比較すると、建設業で6.3ポイントの好転となった一方、製造業で43.3ポイント、卸売業と小売業で37.4ポイント、サービス業で35.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」8.4%、「悪化企業」65.4%でD・I値△57.0と、前年同期見通し(△18.9)に比べ38.1ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

北見市では、2月中旬に新型コロナウイルス感染症における「クラスター」が発生し、各種自粛要請が出され飲食、サービス業をはじめ全業種に影響が拡大しており、今後の見通しにおいても厳しいものとなっている

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」8.7%、「減少企業」52.2%、D・I値43.5と前年同期に比べ43.5ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」43.5%、D・I値△30.5と前年同期より26.0ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△30.5、生産高D・I値△34.8、資金繰りD・I値△47.8と前年同期に比べ全てのD・I値で大幅な悪化傾向を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

2) 建設業

完成工事高 前年比で「増加企業」26.1%、「減少企業」30.4%、D・I値△4.3と、前年同期に比べ5.7ポイントの好転傾向を示しました。

採算 前年比で「好転企業」17.4%、「悪化企業」30.4% D・I値△13.0と前年同期に比べ8.0ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し 業況D・I値△30.5、完成工事高D・I値△30.4、資金繰りD・I値△21.8と前年同期に比べ全てのD・I値で悪化傾向を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

3) 卸売業

売上高 前年比で「増加企業」13.0%「減少企業」60.9%、D・I値△47.9と前年同期に比べ44.2ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

採算 前年比で「好転企業」8.7%、「悪化企業」60.9%、D・I値△52.2と前年同期に比べ26.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

来期見通し 業況D・I値△82.7、売上高D・I値△82.7、資金繰りD・I値△52.2と前年同期に比べ全てのD・I値で悪化傾向を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

4) 小売業

売上高 前年比で「増加企業」9.5%「減少企業」66.7%、D・I値△57.2と前年同期と比べて27.2ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

採算 前年比で「好転企業」9.5%「悪化企業」57.1%、D・I値△47.6と前年同期と比べ32.6ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

来期見通し 業況D・I値△42.9、売上高D・I値△38.1、資金繰りD・I値△23.8と前年同期に比べ全てのD・I値で悪化傾向を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」5.9%、「減少企業」94.1%、D・I値△88.2と前年同期と比べ47.1ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

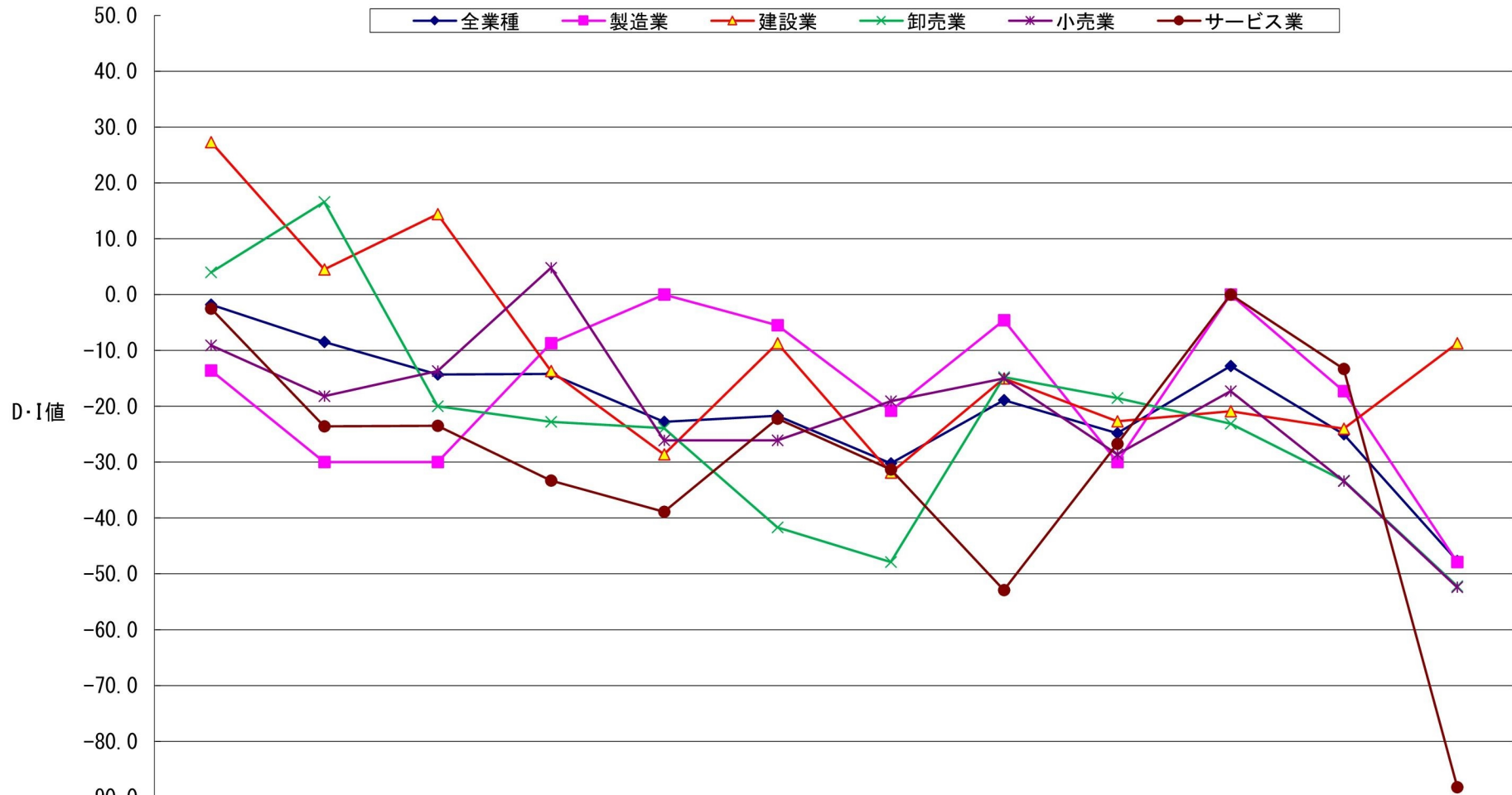
採算

前年比で「好転企業」5.9%、「悪化企業」94.1%、D・I値△88.2と前年同期から35.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△82.4、売上高D・I値△82.4、資金繰りD・I値△76.5と前年同期に比べ全てのD・I値で悪化傾向を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

各年度調査期における業況（前年同期比）のD・I値の比較



	各年度調査期											
	29.4~6 平成29年度 I	29.7~9 平成29年度 II	29.10~12 平成29年度 III	30.1~3 平成29年度 IV	30.4~6 平成30年度 I	30.7~9 平成30年度 II	30.10~12 平成30年度 III	31.1~3 平成30年度 IV	31.4~1.6 令和元年度 I	1.7~1.9 令和元年度 II	1.10~1.12 令和元年度 III	2.1~2.3 令和元年度 IV
◆ 全業種	-1.8	-8.5	-14.3	-14.2	-22.8	-21.7	-30.2	-18.9	-24.8	-12.8	-25.0	-47.7
■ 製造業	-13.6	-30.0	-30.0	-8.7	0.0	-5.5	-20.8	-4.6	-30.0	0.0	-17.3	-47.9
▲ 建設業	27.3	4.5	14.4	-13.7	-28.6	-8.7	-31.9	-15.0	-22.7	-20.9	-24.0	-8.7
✕ 卸売業	4.0	16.6	-20.0	-22.8	-23.9	-41.7	-47.9	-14.8	-18.5	-23.1	-33.3	-52.2
✱ 小売業	-9.1	-18.2	-13.7	4.8	-26.1	-26.1	-19.1	-15.0	-28.6	-17.3	-33.4	-52.4
● サービス業	-2.5	-23.6	-23.5	-33.3	-38.9	-22.2	-31.3	-52.9	-26.7	0.0	-13.3	-88.2

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合
建 設 業	人 材 不 足	人 件 費 増	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合
卸 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	同業者間の競合
小 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	同業者間の競合	資 金 調 達 困 難
サービ業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足
合 計	諸 経 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	人 件 費 増	同業者間の競合

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○全業種でみると、前回調査から1位と2位に変動はなかったが前回3位、4位だった「人件費増」「同業者間の競合」がひとつずつ順位を下げ、前回5位の「得意先減少」が順位を上げ3位となった。

また、業種別でみると卸売業、小売業、サービス業では「得意先減少」がトップとなっており、新型コロナウイルスによる売上減少等大きな影響を受けていることが伺える。加えて、増税によるコストアップや人材不足についてなど、それぞれの業界が抱える問題は一層深刻になっていることが伺える

※その他及び具体的な業界の問題点と新型コロナウイルスによる影響についての記載事項

(製造) ○学校給食の停止や飲食店の落ち込み、個人消費の冷え込み等全ての面で大きな損害を受けている。

○注文数が3月以降激減。

○イベントなどの中止による印刷物の減少が懸念される。

○清掃・消毒等の作業増加

(建設) ○民間企業の設備投資の延期・中止が予想される。

○公共工事で感染が出れば厳しい状況となりうる。

○発注時期の不明化及びずれ込みが発生しており、資金繰り等に及ぼす影響の可能性が懸念される。

○12月～4月の工事量の減少で人件費負担が増加している。

○公共工事の減少

(卸売) ○売り上げが半分以下。

○ホテル等への納入が無くなった。また、インバウンドの減少と営業での来北がほとんど無く売上の減少につながっている。

○業務用酒販店売上減少。外出を控えた事で、料飲店売上大幅減少。閉店・廃業続出。

○サービス業全般がコロナの影響あり。今後海外からのモノの遅れにより、夏以降モノが入らない最悪の状況を想定しないといけない。

- 先の見えない不安に消費マインドも落ちている。
- 3月から4月の展示会イベントがすべて中止になり販売機会の損失も発生。
- マスク・消毒液関連の品薄により問い合わせ等の対応に苦労している。得意先への訪問に制限があり営業活動ができていない。
- メーカーからの部品供給が中国から無くなり、生産能力が落ちてきているため、今後の商品仕入れに影響が出始めている。

(小売) ○来店客数が大幅に減少。

- 売上前年比7割減。4月～5月まで婚礼・宴会等ほぼキャンセルの状況見通し立たず。
- 公共施設の休館、病院の来院の自粛、歓送迎会の中止による購買意欲の低下等の影響が大きい。
- 徐々に客数は戻りつつあるが、前年比で見ると苦戦。コロナウイルス感染者が減少後の好転を期待。
- マスク・消毒液等の経費増。
- 学校給食、ホテル、飲食店がお得意様なので悲鳴をあげている。でも頑張ります。

- (サービス) ○風評被害も含めて、人の流れが滞っている為、何時迄続くのか見通しがたたない。
- コロナウイルスによる客足の大幅な減少。

業 況

- 製造業 ⇒ 好転（農産物加工、飴菓子、鋳物製品）
悪化（菓子、食肉、ビール製造、松製材、木製品、印刷、金属製品、農業用機械、石材加工、石灰製品、建具）
- 建設業 ⇒ 好転（一般住宅、給排水）
悪化（一般土木、塗装、屋根板金）
- 卸売業 ⇒ 好転（事務機器）
悪化（鉄鋼、食品、米穀、製菓製パン、酒類、作業着、家電、土木建築資材、自動車部品、玩具、種苗）
- 小売業 ⇒ 好転（介護用品、スポーツ用品）
悪化（食肉、酒、青果、紳士婦人服、眼鏡、自動車、家電、靴、絵画、火薬、生鮮食品）
- サービス業 ⇒ 好転（IT）
悪化（ホテル、ビルメンテナンス、飲食、建物清掃、理美容、レンタカー喫茶）

(※太字アンダーライン表示は重複該当業種)